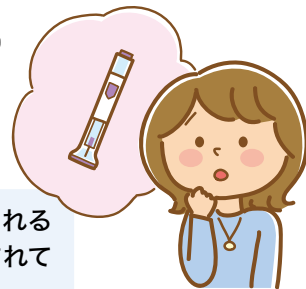


本当は



危険な
ダイエット

糖尿病薬「マンジャロ」の 不適切使用



SNSで2型糖尿病治療薬「マンジャロ」が、やせられる薬として紹介され、自由診療で処方されるケースがあります。マンジャロには食欲減退の作用があるため、食事量を減らす目的で使用されているようですが、厚生省は「健康被害につながるおそれがある」として注意喚起を行っています。

マンジャロ使用のリスクとは？

肥満ではないにもかかわらず、若い女性がマンジャロをダイエット目的で使用するケースが多いようです。

太っていない人が使用すると、副作用のリスクがより高まったり、低栄養による肌荒れや月経不順などを起こしたりします。また、薬を必要としている糖尿病患者に行き渡らなくなるなど、社会的な問題になることも懸念されます。

本当に減量が必要な人は…

薬に頼るのではなく、まずは食事や運動といった生活習慣の見直しから始めることが重要です。

なお、医師から2型糖尿病と診断され、薬が処方された場合は、必ず医師の適切な管理のもとで治療を進めましょう。

ダイエット目的での使用は避けてください！

マンジャロはすい臓からのインスリン分泌を促す薬です。2型糖尿病に対してのみ効果・効能が認められ、保険診療として使用できます。一方で、ダイエットなど、本来の目的以外での使用については、安全性・有効性は確認されていません。



●命に関わる副作用が起こりうる

これまでに、吐き気・下痢・便秘などの消化器症状や、急性すい炎、低血糖、腸閉塞などの命に関わるような副作用が報告されています。報告されていない副作用が生じる可能性も否定できません。

●救済制度の対象外

上記のような重篤な健康被害が起きても、本来の目的外の使用であるため、「医薬品副作用被害救済制度」の対象外になります。医療費などの救済給付を受けられません。

